

生分解性フィルムの特性説明

福島県農業試験場野菜部
平成15年度福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

野菜－その他－施設資材
分類コード 03－99－35000000

2 担当者

雨宮潤子

3 要旨

ポリエチレンマルチフィルム（ポリマルチ）の代替資材として注目されている生分解性マルチフィルムは、資材毎に耐久性や土中分解性が異なり、栽培期間中に崩壊してしまうことがある。そこで、数種の生分解性マルチの耐久性および土中分解性等を明らかにした。

- (1) ポリ乳酸原料の資材は、伸縮性が極めて小さく亀裂が入りやすいため、機械展張できなかった。
- (2) 耐久性調査の結果、メーカーの提示する目安どおりにほぼ使用可能な資材は、ユニグリーン、バイオマルチ、キエ丸(M)、エコグリーンマルチ、コーンポールマルチ(S)であった。
- (3) 土中での分解は、ポリカプロラクトン・ポリブチレンサクシネート原料の資材で早く、ポリ乳酸・ポリエチレンカーボネート・デンプン原料の資材で遅い傾向がみられた。

4 その他の資料等

なし